

ビオトープフォーラム in 富山2015

ービオトープによるコミュニティづくりー

実施報告書

日時：2015（平成27）年6月12日（金） 13:00～16:45

場所：富山県民会館「401」（富山県富山市新総曲輪4-18）

主催：特定非営利活動法人日本ビオトープ協会 共催：自然環境復元学会

後援：環境省 文部科学省 農林水産省 国土交通省 富山県 富山市 富山県立大学 専門学校職藝学院 富山県ビオトープ研究会
富山県ビオトープ協同組合（特非）自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会（一社）富山県緑化造園土木協会（一社）
日本造園建設業協会富山県支部（一社）日本造園組合連合会富山県支部 富山市造園業協同組合（順不同）

◆フォーラム参加者 計 87名

官庁・後援関係	5名	環境団体関係	16名	一般	13名
マスコミ関係	5名	学生・学校関係者	6名	造園団体・造園業者	11名
協会員	31名				

◇総括

『ビオトープフォーラム in 富山2015』は、地元富山をはじめ全国から参加をいただき、ビオトープによるコミュニティづくりをテーマに盛大に開催することができました。関係官庁の後援と講師の先生、協会員の方々をはじめ、皆様にご協力をいただき心より感謝の意を表します。また、ご多用中にも関わらず、富山市農林水産部森林政策課 参事・課長の金山昌一様、射水市環境課長・島崎真治様、環境課主任・島倉信一様、魚津市環境安全課・広田雅樹様、また代表顧問としてご指導いただいた故杉山恵一先生のご令室美智子様にご臨席を賜り、金山様よりご祝辞を頂戴いたしました。

富山市農林水産部森林政策課 参事・課長 金山昌一様 祝辞（要旨）

本来であれば市長がご挨拶申し上げるところでございますが、議会中ということでお伺いすることができず、メッセージを預かっておりますので、代読をさせていただきます。

本日、「ビオトープフォーラム in 富山2015」が、全国各地から多くの皆様をお迎えし、このように盛大に開催されますことは、誠に喜ばしく、富山市民を代表して心より歓迎申し上げます。NPO法人日本ビオトープ協会におかれましては、日頃、貴重な生物の生息空間の保全や、消失した自然の復元などを通じて、人間と自然が共生する社会の実現と環境保全にご尽力いただいております。このことに対しまして、心から敬意を表するものであります。とりわけ、本日、表彰を受けられます皆様方には、その長年にわたるご努力、ご苦労が報われたものと、心よりお祝いを申し上げます。

ご承知のように、生物多様性の保全、地球温暖化ガスの削減など、環境問題は、世界の多くの地域において避けては通れない大きな課題となっております。このような中、学校、公園、里山など様々な場所でビオトープを創生、復元していくことは、自然生態系の維持、回復を図る上で、極めて重要な活動であります。

本市におきましては、平成23年に、国家戦略プロジェクトである環境未来都市に選定され、昨年9月には、国内で唯一、国連から「エネルギー効率改善都市」に選定されました。今後とも、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを中心に、質の高い魅力的な市民生活づくりや地域特性を活かした産業振興に取り組むとともに、市民一人一人の環境意識を高めるための啓蒙活動に取り組んでいきたいと考えているところであります。

本日、本市において、「ビオトープによるコミュニティづくり」をテーマとしたフォーラムが開催され、様々な視点から情報交流が図られますことは、誠に意義深く、本フォーラムが実り多いものとなり、環境保全への意識が高まりますことを強く期待しているところであります。

さて当地は、東に三千メートル級の雄大な立山連峰を望み、北は「天然の生けす」と呼ばれる富山湾に面しております。また、地域の70%を森林が占めているなど、水と緑に恵まれた自然豊かな都市です。遠来の皆様には、お時間の許す限り相互の交流を深めていただくとともに、せっかくの機会でございますので、本市の美しい自然や富山湾の旬の味、さらには温かい人情に接していただければと思います。～一部略～

終わりになりますが、本フォーラムのご成功と、開催にあたり多大なるご尽力を賜りました関係団体の皆様方のさらなるご発展、さらには、本日ご出席の皆様方の今後のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げまして、歓迎のあいさつといたします。

平成27年6月12日 富山市長 森 雅志

フォーラムでは、はじめに協会会長櫻井淳より開会の挨拶として、当協会では地域の自然環境の保全・復元・維持管理を行っており、ビオトープアドバイザーという現場で活躍する技術者の養成に力を入れている点、今回のテーマであるビオトープによるコミュニティづくりについてお話し、また今年度富山で開催する事にした意義と開催に至る関係者への謝意が述べられました。

第1部では、ビオトープ顕彰委員会委員長、横浜国立大学学長・鈴木邦雄氏の講評と、『第7回ビオトープ顕彰』表彰式が行われ、本年度ビオトープ大賞の（特非）自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会はじめ各受賞者に櫻井会長から表彰状が手渡されました。引き続き事例発表が行われ、「射水市青井谷野手地区周辺里山ビオトープ」「不思議の森のビオトープ」の2件の事例が、紹介されました。（別紙フォーラムレジュメ資料集掲載）（顕彰講評・受賞紹介：協会WEB）

第2部は（株）環境システム研究所原田鎮郎代表による「コミュニティ再生とビオトープ」と題して特別講演をいただきました。三陸大津波の被災地を含めて街を構築する建設物に於いて自然環境への影響を最小にする為の人口地盤について、愛知万博のグローバルループを始めとする多くの実績からお話をいただきました。特に生物多様性を維持しつつ将来のコミュニティに「総合環境力」が必須であることなど多くの示唆に富んだ講演でした。続いて、富山市ファミリーパーク山本茂行園長に「ビオトープによるコミュニティづくり-富山市ファミリーパーク30年の道-」についてご講演いただきました。珍しい動物集めの競争をするのではなく、日本に生息する身近な動物をできるだけ自然な状態で展示する事により、子供たちに体感させる重要性と絶滅危惧種の保護保全など動物園の使命についても強調されました。〈裏面へ続く〉

閉会の辞は、協会副会長野澤日出夫よりフォーラム参加者と関係者への謝意が述べられ閉会しました。

このフォーラムを通じて、地球環境の改善・生物多様性社会・いのちを知る環境学習・コミュニティづくり等の重要性を再認識し、当協会の役割と責務の大きさを実感いたしました。今後も自然との共生をめざした活動を推進し、持続可能な地域づくりに貢献して参ります。

最後に、皆様のご協力に対し心より厚くお礼申し上げます、今後ともご指導・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

2015年6月吉日

—別紙レジュメ資料集の通り、盛会にて終了いたしました—

～「ビオトープフォーラム in 富山 2015」の様子～



～2日目エクスカージョンの様子～

